

# 事務事業実績測定調書

10207020007	枚方市規格葬儀事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
	取り組みの方向	26.安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を高める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度		~		
根拠法令等	枚方市規格葬儀に関する要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	簡素・低廉かつ厳粛な葬儀が葬儀業者間で統一して提供できていて、市民がそれを利用できている。				
事業概要	枚方市が葬儀の仕様や金額を定め、市の規格に沿って葬儀を行う葬儀業者を「枚方市規格葬儀取扱店」として承認し、市の規格どおりの葬儀を行っていることを確認する。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	規格葬儀利用者満足度 【算出式:アンケートにより満足またはどちらかといえば満足と回答した人/アンケート回答数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	85	85	88		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.40	0.51
正職員数	0.20	0.40	0.51
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,575	3,180	4,089
正職員人件費(換算額)	1,575	3,180	4,089
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	45	1	42
■事務事業の総計(千円)	1,620	3,181	4,131
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,620	3,181	4,131

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度の利用件数は167件(標準葬61件、略式葬106件)で、標準葬よりも簡素で安価な略式葬を利用する割合は、63%であった。なお、市民死亡者のうち4.4%が枚方市規格葬儀を利用した。</li> <li>規格葬儀取扱店の追加募集を行ったものの新たな応募はなく、昨年度と変わらず取扱店は12社であった。</li> <li>規格葬儀パンフレットの改訂を行い、それに合わせて各取扱店から聴取した意見を踏まえ、オプションの見直し等を行った。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	昨年度と比較して利用件数は微減であるが、標準葬よりも安価な略式葬儀を利用する割合が増えている。今後の市民のニーズや社会状況の変化を注視しながら、より多くの市民に求められる制度となるよう各取扱店からの意見を踏まえながら検討していく。	

# 事務事業実績測定調査

10207020008	枚方市立やすらぎの杜施設維持管理事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
	取り組みの方向	26. 安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を高める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2008 (H20) 年度		～		
根拠法令等	枚方市立火葬場条例施行規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	火葬場を適正に運営し、全ての利用者が常時、快適に利用できている。また、近隣の環境に配慮ができています。				
事業概要	死亡された市民等を火葬する施設として、火葬中の設備機器トラブルの発生や、地域環境を害する運転等を起こさないために、定期補修工事等を実施して、適切な施設の維持・管理を行う。また、指定管理者と連携し、適切に火葬場の運営を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	やすらぎの杜稼働率 【年間稼働日数/年間稼働予定日×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.07	0.96	0.94
正職員数	1.07	0.96	0.79
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.15
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.15
■人件費総額(千円)	8,425	7,633	6,530
正職員人件費(換算額)	8,425	7,633	6,333
非正規職員人件費(計)	0	0	197
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	197
■直接経費(千円)	181,568	177,674	189,160
■事務事業の総計(千円)	189,993	185,307	195,690
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	142,594	162,421	171,119
一般財源	47,399	22,886	24,571

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の目標の実績度	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の火葬実績は、5,241件であった。</li> <li>・定期補修工事を実施し、火葬炉耐火煉瓦全面積替(2炉)、火葬炉電気設備更新(2系列)、火葬炉内耐火材の補修(4炉)、火葬炉台車補修(6炉)、燃焼設備機器(2系列)等を施工し、施設の適切な維持・管理を行った。</li> <li>・指定管理者と連携し、四半期に一度、施設管理業務の遂行状況や、業務の継続性安定性等の確認等を行うモニタリングを行い、適切に火葬場の運営を行った。</li> <li>・近隣の他市火葬場との均衡をはかるため、令和2年4月1日以降の火葬料の改定を行った(改定後の新料金:【大人】100,000円、【小人】60,000円、【死産児】20,000円)。</li> <li>・施設利用者の利便性を図るため設置している自動販売機について、令和元年度末で行政財産使用許可期間満了のため、令和2年度以降の設置事業者を募集し、決定した。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な今後の取組方策	定期補修工事の実施により、施設の適切な維持・管理を行うとともに、今後、長期的な施設保全計画を策定する。	

# 事務事業実績測定調書

10523010001	鳥獣捕獲許可関連事務		
測定年度	2019(R1)年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	23.豊かな自然環境を大切にするまち	
	取り組みの方向	82.里山などの豊かな自然空間を保全・継承していくため、自然と親しみ、自然の大切さを発信するとともに、森林ボランティア育成などに取り組みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1998(H10)年度		～		
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	野生鳥獣の捕獲等により、野生鳥獣(特定外来生物や有害鳥獣など)による被害がなくなる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>野生鳥獣等の相談に関する事務</li> <li>有害鳥獣捕獲等の許可及び捕獲器の貸出業務</li> <li>特定外来生物であるアライグマについて、捕獲器の貸出及び捕獲個体の運搬について、業者に委託して実施。</li> <li>鳥獣飼養登録等事務</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	捕獲頭数(アライグマ・イタチ・ハト・カラス等)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	頭
目標(予測)	—	650	630	615		
実績	397					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.50	0.55	0.68
正職員数	0.50	0.55	0.66
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.02
再任用職員数	0.00	0.00	0.02
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,937	4,373	5,393
正職員人件費(換算額)	3,937	4,373	5,291
非正規職員人件費(計)	0	0	102
再任用職員人件費(換算額)	0	0	102
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,040	3,965	2,683
■事務事業の総計(千円)	5,977	8,338	8,076
国庫支出金	0	0	0
府支出金	309	429	407
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	3	0	0
一般財源	5,665	7,909	7,669

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定外来生物76頭の捕獲を行った。</li> <li>・有害鳥獣の捕獲許可の申請を受付し、110件の許可を行った。</li> <li>・飼養登録件数は0件であった。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	大阪府による措置処分が平成31年度より委託業務となり、措置単価が上がっていることから、費用対効果について他の措置方法・委託手法の検討を進める。	

# 事務事業実績測定調査

10523020001	自然保護啓発事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	23.豊かな自然環境を大切にするまち	
	取り組みの方向	83.市街地に残された貴重な農地や樹林地の保全に取り組みます。	
	実行計画事業名	自然保護啓発事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		～		
根拠法令等	自然環境保全法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自然とふれあう、また、自然環境について考える機会を通して、自然環境保全の意識が醸成されている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の自然環境を身近に感じてもらうため、天野川や山田池公園などで、魚や昆虫、植物などの自然観察会等を開催。</li> <li>自然環境を考える講演会を開催。</li> <li>H29年度からH30年度にかけて、第6回自然環境調査(補完調査)を実施。(主な調査地域は、山田池公園、船橋川、穂谷川、天野川)</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	観察会参加者のうち、自然を大切にしようと思った人の割合 【算出式: アンケートにより「自然を大切にしようと思う」と回答した人 / アンケート回答数 × 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	85	88	90		
実績	88.7					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.55	0.44	0.29
正職員数	0.55	0.44	0.21
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.08
再任用職員数	0.00	0.00	0.06
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.02
■人件費総額(千円)	4,331	3,498	2,016
正職員人件費(換算額)	4,331	3,498	1,684
非正規職員人件費(計)	0	0	332
再任用職員人件費(換算額)	0	0	306
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	26
■直接経費(千円)	84	4,023	133
■事務事業の総計(千円)	4,415	7,521	2,149
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,415	7,521	2,149

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>①自然観察会の開催 7月20日に水辺の楽校(参加者61人)、8月3日にセミの抜け殻調査と自然工作(参加者50人)、8月17日に夏の山田池公園昆虫教室(参加者44人)、8月21日に葉っぱの観察と工作(参加者16人)、11月16日に葉っぱと木の実でナチュラルアート(参加者15人)を開催した。</p> <p>②自然環境を考える講演会の開催 令和2年1月25日に「市民参画と協働による里山保全～堺自然ふれあいの森など大阪府内の事例を題材に～」をテーマに開催し、58人の参加があった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により申込件数・参加人数とも減少すると予想されるが、予防対策を徹底するとともに、実施手法および内容の精査を行い少しでも多くの参加を確保していく。また、自然観察会の参加者数を増やすために、参加者募集に関するPR手法および観察会の実施内容の見直しを行い魅力の向上を図る。</p>	



# 事務事業実績測定調書

10525020001	ごみ処理手数料(証紙)徴収事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2002(H14)年度		～		
根拠法令等	枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例、枚方市証紙条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が粗大ごみ等を適正かつ円滑に排出している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>粗大ごみ等の処理に係る手数料を徴収する証紙の販売・管理を行う。</li> <li>証紙を販売する売りさばき人の指定等を行う。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	証紙販売数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	枚
目標(予測)	—	80,000	80,000	80,000		
実績	92,271					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.20	1.20	1.00
正職員数	0.50	1.17	1.00
非正規職員数(計)	0.70	0.03	0.00
再任用職員数	0.70	0.03	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	7,048	9,451	8,017
正職員人件費(換算額)	3,937	9,303	8,017
非正規職員人件費(計)	3,111	148	0
再任用職員人件費(換算額)	3,111	148	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	3,780	4,854	5,799
■事務事業の総計(千円)	10,828	14,305	13,816
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	10,828	14,305	13,816

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>・売りさばき人を指定し、証紙を販売することにより、粗大ごみ等の処理に係る手数料を徴収した。 300円券:57,743枚、600円券:34,528枚</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、証紙を適正に管理・販売し、粗大ごみ等の処理に係る手数料を徴収する。	

# 事務事業実績測定調査

10525020002	事業系ごみ減量及び適正処理推進事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般廃棄物を排出する事業者が、減量及び適正処理を実施している。 一般廃棄物を排出する事業者が、ごみ処理手数料を適切に負担している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物を排出する事業者に減量及び適正処理の指導を行う。</li> <li>事業系ごみ処理手数料の見直しを行う。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	事業系一般廃棄物搬入量					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	トン
目標(予測)	—	32,336	32,148	31,960		
実績	31,994					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.20	1.25	1.00
正職員数	0.70	1.25	1.00
非正規職員数(計)	0.50	0.00	0.00
再任用職員数	0.50	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	7,734	9,939	8,017
正職員人件費(換算額)	5,512	9,939	8,017
非正規職員人件費(計)	2,222	0	0
再任用職員人件費(換算額)	2,222	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	5,495	5,738	3,014
■事務事業の総計(千円)	13,229	15,677	11,031
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	13,229	15,677	11,031

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多量排出事業者72社に廃棄物減量等計画書の作成等を指導し、計画書等の提出があった。</li> <li>・多量排出事業者25社に立入指導を実施した。</li> <li>・事業系ごみ処理手数料の見直しの検討を行った。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、多量排出事業者への減量指導や周知啓発を行うとともに、それ以外の事業者に対してもごみ減量や適正排出に向けた啓発・指導を行う。また、事業系ごみ処理手数料の適正化については、令和5年度の条例改正に向けて検討を進める。	

# 事務事業実績測定調書

10525020004	北河内4市リサイクル施設組合負担金交付事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2001(H13)年度		～		
根拠法令等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、北河内4市リサイクル施設組合格約				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、北河内4市(枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市)で設立した北河内4市リサイクル施設組合で、ペットボトル・プラスチック製容器包装の中間処理を行っている。</li> <li>北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、北河内4市リサイクル施設組合格約に基づく応分の負担金を交付している。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	ペットボトル・プラスチック製容器包装のリサイクル率 【算出式:リサイクルした量/中間処理量(再商品化)】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.05	0.05	0.05
正職員数	0.05	0.05	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	394	398	401
正職員人件費(換算額)	394	398	401
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	177,005	174,320	165,756
■事務事業の総計(千円)	177,399	174,718	166,157
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	177,399	174,718	166,157

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>・北河内4市(枚方市・寝屋川市・四條畷市・交野市)でペットボトル・プラスチック製容器包装を分別収集し、北河内4市リサイクルプラザ(かざぐるま)において中間処理を行い、資源化を実施した。 枚方市のペットボトル・プラスチック製容器包装の収集量:5,007トン</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	北河内4市リサイクルプラザ(かざぐるま)の適正かつ効率的な運営のために、引き続き北河内4市リサイクル施設組合に職員1名を派遣し、北河内4市リサイクル施設組合規約に基づく負担金の交付を行う。	

# 事務事業実績測定調査

10525020022	一般廃棄物処理計画推進事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般廃棄物の減量及び適正処理が行われている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物処理基本計画や災害廃棄物処理計画などの策定・見直しを行うとともに、各種計画に基づく取り組みの進捗管理を行う。</li> <li>枚方市廃棄物減量等推進審議会の運営を行う。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	一般廃棄物処理実施計画に記載している主な取り組みの実施率 【算出式: (計画に記載している主な取り組みの実施件数) / (計画に記載している主な取り組みの件数)】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	17.25	17.17	19.80
正職員数	0.05	0.15	1.20
非正規職員数(計)	17.20	17.02	18.60
再任用職員数	0.20	0.02	1.60
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	17.00	17.00	17.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,739	1,538	18,157
正職員人件費(換算額)	394	1,193	9,620
非正規職員人件費(計)	1,345	345	8,537
再任用職員人件費(換算額)	889	98	8,157
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	456	247	380
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	41	49	7,904
■事務事業の総計(千円)	1,780	1,587	26,061
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	2,280
一般財源	1,780	1,587	23,781

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物処理基本計画に基づく取り組みの進捗状況をとりまとめ、枚方市廃棄物減量等推進審議会に報告した。</li> <li>枚方市災害廃棄物処理計画を10月に策定した。</li> <li>枚方市廃棄物減量等推進審議会を2回開催した。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、一般廃棄物処理基本計画に基づく取り組みの進捗管理を行うとともに、廃棄物の減量及び適正な処理を推進するため、必要に応じて廃棄物減量等推進審議会を開催する。	



# 事務事業実績測定調書

10525030002	枚方京田辺環境施設組合負担金交付事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	86.穂谷川清掃工場第3 プラントの老朽化に伴い、新たなごみ処理施設の整備を進めます。	
	実行計画事業名	新ごみ処理施設整備事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度		～		
根拠法令等	枚方京田辺環境施設組合同規約				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	可燃ごみ広域処理施設が稼働している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化している穂谷川清掃工場第3プラントと京田辺市甘南備園焼却施設の後継施設について、枚方市と京田辺市が枚方京田辺環境施設組合を設立し、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を行う。</li> <li>・枚方京田辺環境施設組合の適正な運営と施設の整備を行うため、枚方京田辺環境施設組合同規約に基づく応分の負担金を交付している。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	整備事業の進捗率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	44	56	67		
実績	33					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.06	1.06	0.30
正職員数	0.06	0.06	0.10
非正規職員数(計)	1.00	1.00	0.20
再任用職員数	1.00	1.00	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	4,916	5,399	1,822
正職員人件費(換算額)	472	477	802
非正規職員人件費(計)	4,444	4,922	1,020
再任用職員人件費(換算額)	4,444	4,922	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	73,767	104,589	82,660
■事務事業の総計(千円)	78,683	109,988	84,482
国庫支出金	0	0	0
府支出金	13,400	19,500	12,600
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	65,283	90,488	71,882

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>・引き続き、組合が実施する環境影響評価等の事業について、構成市及び組合で組織する運営協議会を開催し、協議・調整を行うとともに、市長協議を行うなど、円滑な整備に向けて連携を図った。</p> <p>・組合において、オオタカに係る追加調査や保全措置の検討及び工事に伴う保全措置の実施のため、新ごみ処理施設の稼働目標年次を令和5年度から令和7年度に見直すこととされた。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	組合において環境影響評価の手続きを引き続き進めるとともに、構成市及び組合で組織する運営協議会等において協議・調整するなど、連携を図りながら、令和7年度の稼働へ向けて円滑に事業を進める。	

# 事務事業実績測定調査

10526020001	水道事業会計補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	88.市民の生活や産業活動を支えるため、安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		～		
根拠法令等	地方公営企業法、枚方市補助金等交付規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市水道事業の健全化と水道料金の抑制が図られている状態。				
事業概要	<p>一般会計から水道事業会計へ補助金・負担金を繰り出しすることで、市民の生活に必要な不可欠な水道水を供給する水道事業の経営の健全化と水道料金の抑制につなげる。</p> <p>1. 水道事業会計への補助金(福祉減免分) 2. 水道事業会計への負担金(上水道の水源開発に要する経費(1/3相当額)・児童手当分)</p>				

## 2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.05
正職員数	0.10	0.10	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	401
正職員人件費(換算額)	787	795	401
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	108,855	115,971	116,714
■事務事業の総計(千円)	109,642	116,766	117,115
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	109,642	116,766	117,115

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	・水道事業会計に負担金10,229千円、106,485千円補助金を支出した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、適正に補助金等を支出する。	

# 事務事業実績測定調書

10527020003	エコオフィス推進事務		
測定年度	2019(R1)年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち	
	取り組みの方向	91.市民や事業者、行政などあらゆる主体が連携・協力しながら、環境教育・学習を推進するとともに、省エネルギーの取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度		～		
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律、大阪府温暖化の防止等に関する条例、枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市役所が率先して、環境保全活動を実施し、市役所の事務事業から排出される温室効果ガスの削減を図るとともに、市内の事業者が、環境保全活動を推進し、市域の温室効果ガス排出量の削減が図られている。				
事業概要	・「枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～」や「枚方市エコオフィスに関する取り組み指針」などにに基づき、省エネ・省CO2対策を実施。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	市役所の事務事業に伴い排出された温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	t-CO2
目標(予測)	70,650	72,116	70,857	69,598		
実績	64,832					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.10	0.09
正職員数	0.10	0.08	0.09
非正規職員数(計)	0.10	0.02	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.10	0.02	0.00
■人件費総額(千円)	880	661	722
正職員人件費(換算額)	787	636	722
非正規職員人件費(計)	93	25	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	93	25	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	880	661	722
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	880	661	722

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>・「枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～」や「枚方市エコオフィスに関する取組指針」に基づきエコオフィス活動などを実施し、地球温暖化対策を推進した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>平成30年4月に策定した「枚方市役所CO2削減プラン(2018-2022年度)」や「エコオフィスに関する取組指針」の運用により、環境保全活動の一層の推進とさらなる事務の効率化を図る。また、「枚方市役所CO2削減プラン(2018-2022年度)」の次期計画の策定に向けた検討を進める。</p>	

# 事務事業実績測定調査

10527020004	環境教育推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち	
	取り組みの方向	91.市民や事業者、行政などあらゆる主体が連携・協力しながら、環境教育・学習を推進するとともに、省エネルギーの取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	環境教育・学習推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1995 (H07) 年度		～		
根拠法令等	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律、枚方市環境教育・環境学習推進指針				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境について学ぶ機会が常時、確保され、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへの転換が図られている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼児のための体験型環境学習プログラム」として、市民や市職員が講師となり、市内の保育所・園、幼稚園で環境出前学習を実施。</li> <li>・小学校高学年を対象とした環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の発行。</li> <li>・子どもたちが夏休みに家庭で排出されるCO2排出量を体感し、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心を持ってもらうきっかけとして「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校に配布。</li> <li>・各学校園において、教職員や幼児、児童、生徒などを対象とした市独自の学校版EMSプログラム「S-EMS」を導入し、エコオフィス活動をはじめ環境保全活動を推進。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	環境保全に関心を持つきっかけとなったと思った割合 【算出式: アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数 / アンケート回答数 × 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
目標(予測)	—	80	85	88	単位	%
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.62	0.72	0.75
正職員数	0.62	0.70	0.58
非正規職員数(計)	0.00	0.02	0.17
再任用職員数	0.00	0.02	0.02
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.15
■人件費総額(千円)	4,882	5,664	4,949
正職員人件費(換算額)	4,882	5,566	4,650
非正規職員人件費(計)	0	98	299
再任用職員人件費(換算額)	0	98	102
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	197
■直接経費(千円)	872	765	889
■事務事業の総計(千円)	5,754	6,429	5,838
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,754	6,429	5,838

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>①環境出前学習の実施 申込みに基づき実施した保育所(園)・幼稚園数は、私立16保育園、市立11保育所、私立6幼稚園の合計33園、実施回数は合計42回であった。</p> <p>②環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の発行 市内全ての小学校4年生に3,935部を配布した。</p> <p>③「ひらかたみんなでエコライフつうしんぼ」の発行 市内小学校4・5・6年生2,768人から申込があり、2,098人から提出を受けた。</p> <p>④枚方市地球温暖化対策協議会の会員企業による環境出前授業、施設見学 環境出前授業、施設見学メニューを環境副読本等で周知した。実施件数は196件であった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和2年度の環境出前学習については、新型コロナウイルス感染症の影響により申込件数・参加人数とも減少すると予想されるが、予防対策を徹底するとともに、実施手法および内容の精査を行い少しでも多くの参加を確保していく。	



# 事務事業実績測定調査

10527020006	環境保全啓発補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち	
	取り組みの方向	91.市民や事業者、行政などあらゆる主体が連携・協力しながら、環境教育・学習を推進するとともに、省エネルギーの取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2003 (H15) 年度		～		
根拠法令等	枚方市環境基本条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、現在の良好な環境を次の世代へ引き継いでいく。				
事業概要	NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議は枚方市環境基本計画に基づき、市民・市民団体・事業者・行政がパートナーシップを形成し、環境の保全と創造についての取組を積極的に推進するための場となる組織(中間支援組織)として設立された。 中間支援組織の役割として市民や事業者を対象として取り組む環境保全活動の支援を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	COOLCHOICEひらかたみんなでエコ宣言シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	2,500	3,000	3,500		
実績	804					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.34	0.38	0.32
正職員数	0.34	0.38	0.22
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.10
再任用職員数	0.00	0.00	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,677	3,021	2,274
正職員人件費(換算額)	2,677	3,021	1,764
非正規職員人件費(計)	0	0	510
再任用職員人件費(換算額)	0	0	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,385	1,267	1,255
■事務事業の総計(千円)	4,062	4,288	3,529
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,062	4,288	3,529

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議が実施する環境保全の取り組みを支援するため、次の4事業に対し、補助金を交付した。</p> <p>①温暖化対策事業          ・「我が家のエコノート」には延べ297世帯、「COOL COICEひらかたみんなでエコ宣言」には804人から応募があった。          ・「ごみ減量推進事業」として、「リユースコーナー」を常設し、延べ319人951品の利用があり、「ごみの出し方リーフレット」を作成し各生涯学習市民センターや講座参加者等に約870枚を配布した。</p> <p>②ひらかたエコフォーラム開催事業          市民の環境意識の向上と環境団体、事業者等の相互の活動交流や情報発信の場として開催。2部構成として参加者は368人であった。</p> <p>③環境講座開講事業          自然エネルギー学校2019を開講し計113人の参加があり、環境教育の担い手を養成する環境くらわんか塾を開講し、合計24人が受講した。</p> <p>④中間支援事業          環境に関わる団体・グループ等に対する中間支援事業を行い、キャップ回収支援では、7団体からエコキャップ回収223,600個(520kg)を回収し、リサイクル業者に引き渡した。</p>	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	ひらかた環境ネットワーク会議の行う事業がより安定的・効果的なものとなるよう、補助内容の見直しを行っていく。	

# 事務事業実績測定調査

10527020007	環境基本計画推進事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち	
	取り組みの方向	91.市民や事業者、行政などあらゆる主体が連携・協力しながら、環境教育・学習を推進するとともに、省エネルギーの取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1999 (H11) 年度		～		
根拠法令等	枚方市環境基本条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	現年度分の事業計画の達成により、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、現在の良好な環境を次の世代へ引き継いでいくことができる状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市環境基本条例第7条の規定に基づき、環境の状況、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に進めるための計画として策定した環境基本計画の進行管理を行うため、施策の実施状況の把握・点検を行い、継続的に計画の推進を図る。</li> <li>・環境の現況と環境基本計画に基づく施策の実施状況等を掲載した「ひらかたの環境(環境白書)」を発行。</li> <li>・市民向けの啓発として主に市の環境保全に関する取り組みを紹介した「ひらかたエコカレンダー」を発行。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	「環境基本計画」事業計画に基づく各環境施策の取り組み目標達成率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	70	75	75		
実績	93.05					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	20.84	19.78	20.39
正職員数	0.84	0.78	1.39
非正規職員数(計)	20.00	19.00	19.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	20.00	19.00	19.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	7,355	6,449	11,923
正職員人件費(換算額)	6,614	6,202	11,144
非正規職員人件費(計)	741	247	779
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	741	247	779
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	949	155	4,372
■事務事業の総計(千円)	8,304	6,604	16,295
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	8,304	6,604	16,295

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>①第2次環境基本計画の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の環境の現況と環境施策の実施状況について取りまとめた「ひらかたの環境(環境白書)」、及び主に市の環境保全に関する取り組みを紹介した「ひらかたエコカレンダー2020」を作成・配布。</li> <li>・第2次枚方市環境基本計画に基づく令和元年度事業計画を策定した。</li> </ul> <p>②環境審議会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会3回、環境基本計画策定部会5回を開催し、第2次枚方市環境基本計画等の進捗の報告を行うとともに、第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて審議を進め、令和2年3月に基本的な考え方についての答申を受けた。(参考 開催回数:令和元年度8回、平成30年度3回、平成29年度8回)</li> </ul> <p>③第3次環境基本計画の策定(※令和元年～2年度実施事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年3月に策定した第2次枚方市環境基本計画の計画期間が令和2年度に終了することから、後継計画となる第3次枚方市環境基本計画の策定に着手した。策定にあたっては、市民・事業者アンケートや市内高校生を対象としたワークショップを実施し、その意見を踏まえて審議を進め、令和2年3月に環境審議会から答申を受けた。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、環境情報を積極的に提供する。また、令和2年度に最終年度を迎える現行計画について、次期環境基本計画策定に向けたパブリックコメントの実施等、取り組みを進める。	

# 事務事業実績測定調査

10527020008	地球温暖化防止対策事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち	
	取り組みの方向	91.市民や事業者、行政などあらゆる主体が連携・協力しながら、環境教育・学習を推進するとともに、省エネルギーの取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち	
	取り組みの方向	90.再生可能エネルギーの利用拡大を進めます。	
	実行計画事業名	再生可能エネルギー導入等推進事業	

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		～		
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	現年度分の事業計画のうち、枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に係るもの等の達成により、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、市域の温室効果ガス排出量の削減が図られている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、市域の温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを実施する。</li> <li>地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき設置した「枚方市地球温暖化対策協議会」を通じて、事業者と行政が連携し、市域における地球温暖化対策を実施する。</li> <li>暑気対策事業として、緑のカーテンの普及や打ち水などを実施する。</li> <li>年間を通して、様々な形式の環境イベント・キャンペーンを継続的に実施することにより、より多くの市民に地球温暖化防止を中心とする環境保全意識の普及・啓発を図る。</li> <li>サプリ村野の「環境情報コーナー」において、地球温暖化対策や省エネなどの環境に関する情報発信、啓発活動を実施する。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	会員事業者のうち前年度と比較してエネルギー消費量が減ったまたは変わらないと回答した割合【算出式:アンケートにより「前年度と比較してエネルギー消費量が減った」または「変わらない」と回答した事業者の数/アンケート回答数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	60	65	70		
実績	92.3					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.53	3.95	3.31
正職員数	2.33	3.75	2.86
非正規職員数(計)	0.20	0.20	0.45
再任用職員数	0.00	0.00	0.35
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.20	0.20	0.10
■人件費総額(千円)	18,532	30,070	24,844
正職員人件費(換算額)	18,346	29,816	22,929
非正規職員人件費(計)	186	254	1,915
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,784
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	186	254	131
■直接経費(千円)	22,636	23,168	29,477
■事務事業の総計(千円)	41,168	53,238	54,321
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	21,055	21,055	21,055
一般財源	20,113	32,183	33,266

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>①地球温暖化対策協議会事業 ・枚方市地球温暖化対策協議会令和元年度事業計画に基づき、延べ665社が各種取組を実施</p> <p>②暑気対策事業 ・「緑のカーテンモニター(参加者115人)及びコンテスト(個人124件、団体30件)」を実施。 ・8月中2回にわたり「打ち水大作戦in枚方2019」を実施するとともに、8月2日には、「クールダウン枚方～みんなで打ち水大作戦～」を保育所・民間企業など、約110人の参加により実施。</p> <p>③エコライフ推進事業 ・令和元年2月に「ひらかたエコフォーラム2020」を開催し、環境表彰などを行った。(参加者368人) ・夏季と冬季に「エコライフキャンペーン」を実施。 ・「ひらかたライトダウン2019」を実施。</p> <p>④大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の運用 ・淀川衛生工場内に設置している出力600kWの大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の令和元年度の年間総発電量は700,320kWhであった。また、当該施設でNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議との連携による施設見学等を行い、環境教育に活用した。</p> <p>⑤COOL CHOICE普及啓発推進事業 ・鉄道駅やバス車内へのポスター掲示、イベントへのブース出展等による普及啓発を実施するとともに、「COOL CHOICE」の趣旨への賛同を呼びかけ、1,642人の賛同を得た。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>平成30年3月に改定した「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、事業を実施するとともに、現計画の計画期間が令和4年度に満了となるため、次期計画の策定に向けた検討を進める。 本事業は、主に市民・事業者への啓発であるため、事業ごとの効果の検証は困難であるが、市域の温室効果ガスの排出量や施策事業の進捗状況等を定期的に把握し、環境基本計画や施策評価制度による進行管理を行っていくことで、温暖化対策の効果と有効性を検証していく。</p>	

# 事務事業実績測定調査

10527020012	環境マネジメントシステム推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち	
	取り組みの方向	91.市民や事業者、行政などあらゆる主体が連携・協力しながら、環境教育・学習を推進するとともに、省エネルギーの取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2001 (H13) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境基本計画の進行管理を行い、市の施策に環境の視点を盛り込むとともに、環境保全施策を推進している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年4月より、ISO14001の取り組みで得られたノウハウを生かしながら、これまで計画や指針ごとに行っていた管理を集約・一元化した市独自の環境マネジメントシステム「枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)」の運用を開始し、環境保全活動を推進。</li> <li>「枚方市低公害車等導入指針」に基づき、公用車の車両保有状況を把握するとともに、低公害車等導入を推進。</li> <li>「枚方市環境に配慮した物品の購入(グリーン購入)推進指針」に基づき、市役所のグリーン購入を推進。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	環境指標達成率 【算出式:環境指標を達成した施策数/環境指標を設定した施策数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	70	71	72		
実績	72.72					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.96	1.28	1.03
正職員数	0.96	0.93	0.78
非正規職員数(計)	0.00	0.35	0.25
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.35	0.25
■人件費総額(千円)	7,559	7,838	6,581
正職員人件費(換算額)	7,559	7,394	6,253
非正規職員人件費(計)	0	444	328
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	444	328
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	7,559	7,838	6,581
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,559	7,838	6,581

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の目標の実績度	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の環境マネジメントシステム「枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)」を運用し、第2次枚方市環境基本計画や枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づく事業計画の進捗管理を行うとともに、内部環境監査を実施し、環境関連法令等の順守状況や環境保全事業及び省エネルギー等の取り組みが適切に実施されていることを確認した。</li> <li>・「枚方市環境に配慮した物品の購入(グリーン購入)推進指針」に基づき、グリーン購入を推進した結果、グリーン購入率が95.7%となり、目標の95%を達成することができた。</li> <li>・令和元年度は新たに17台の公用車を導入し、全てが「枚方市低公害車等導入指針」を満たしていることを確認した。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な今後の取組方策	第3次枚方市環境基本計画の策定にあわせ、「枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)」の適正かつ効率的な運用方法について検討し、今後の適切な運用につなげる。また、グリーン購入について職員への周知を図り、グリーン購入率の向上に努めていく。	



# 事務事業実績測定調書

10528010004	まち美化啓発事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	
	取り組みの方向	92.きれいなまちをつくるため、一人ひとりがポイ捨てなどのマナーに反する行為をなくすとともに、地域の道路・公園等の美化活動を促進するなど、まちの美化に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	まち美化啓発事業	
総合計画体系②	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	
	取り組みの方向	92.きれいなまちをつくるため、一人ひとりがポイ捨てなどのマナーに反する行為をなくすとともに、地域の道路・公園等の美化活動を促進するなど、まちの美化に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	公共場所のアダプトプログラム事業	

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1980 (S55) 年度		～		
根拠法令等	枚方市ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置の防止に関する条例、枚方市路上喫煙の制限に関する条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歩きたばこや吸い殻などのポイ捨てなどがなく、清潔で美しいまちになっている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の各駅周辺において、職員による、条例周知のための街頭啓発キャンペーンを実施。</li> <li>広報、エフエムひらかた等で、条例の規定の周知や、路上喫煙禁止区域の周知等の啓発を実施。</li> <li>「犬のふん放置禁止」「ポイ捨て禁止」の啓発看板を、希望する個人・自治会・事業者等へ配布。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	清掃活動により収集されるごみの量					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	袋
目標(予測)	—	28,000	27,500	26,500		
実績	27,665					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.64	1.34	1.47
正職員数	0.64	1.34	1.27
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.20
再任用職員数	0.00	0.00	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	5,039	10,654	11,202
正職員人件費(換算額)	5,039	10,654	10,182
非正規職員人件費(計)	0	0	1,020
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	4,132	4,307	5,042
■事務事業の総計(千円)	9,171	14,961	16,244
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	9,171	14,961	16,244

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報ひらかたで歩きタバコや犬のふんの放置禁止記事を4回掲載し、エフエムひらかたで犬のふんの放置禁止や歩きタバコ禁止、ポイ捨て禁止等まち美化に関するスポット放送を122回放送した。</li> <li>・犬のふん放置禁止看板354枚、ポイ捨て禁止啓発看板156枚、歩きタバコ禁止啓発看板36枚、その他ステッカー7枚、看板2枚の計555枚を配布した。</li> <li>・地域清掃登録団体 261団体、枚方市アダプトプログラム登録団体 69団体、大阪府アダプトプログラム登録団体 42団体、国土交通省登録団体 3団体が行った清掃活動で出た雑草やごみ27,665袋を回収した。</li> <li>・9月8日と10月5日に「クリーンリバー船橋川」(参加者合計373人)、10月26日に「クリーンリバー天の川(天の川クリーン&amp;ウォーク)」(参加者372人)、11月3日に「クリーンリバー穂谷川」(参加者71人)を本市や各主催者が募ったボランティアとの連携により実施した。</li> <li>・枚方市ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置の防止に関する条例に基づき、飲食物の自動販売機を設置する事業者に対し、ごみ回収容器の設置と市への届出を行うよう指導した。</li> <li>・市民、事業者と協力して不法屋外広告物一斉撤去活動を6月と10月に実施した。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>駅付近の歩きタバコやポイ捨てごみは少なくなっているものの、住宅街では犬のふんの放置や喫煙による迷惑行為の苦情や相談が、寄せられることから、更なるマナーの向上を啓発する。</p>	

# 事務事業実績測定調書

10999990049	環境政策室運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000100	環境部環境政策室
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境政策室及び環境部内の所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する				
事業概要	部内及び室内の庶務、議会・組合等に対する調整及び交渉等、職員の安全衛生及び福利厚生、文書管理、物品管理、予算編成・決算管理等並びに給与・休暇等の事務処理を行う。 行政財産及び基金の管理を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	5.60	7.06	5.37
正職員数	4.80	5.93	4.78
非正規職員数(計)	0.80	1.13	0.59
再任用職員数	0.60	0.95	0.45
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.20	0.18	0.14
■人件費総額(千円)	40,461	51,825	40,841
正職員人件費(換算額)	37,795	47,149	38,321
非正規職員人件費(計)	2,666	4,676	2,520
再任用職員人件費(換算額)	2,666	4,676	2,294
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	226
■直接経費(千円)	68,867	84,932	71,978
■事務事業の総計(千円)	109,328	136,757	112,819
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	19,698	30,493	19,788
一般財源	89,630	106,264	93,031

### 4. 実績測定

	実績／目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	・環境政策室及び部内の運営、庶務事務、連絡調整等について、適正かつ効率的に執行した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	環境政策室及び部内の所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する。	